



MAC プール

- [MAC プール, on page 1](#)
- [MAC プールの作成, on page 1](#)
- [MAC プールの削除 \(3 ページ\)](#)

MAC プール

MAC プールは、ネットワーク ID (MAC アドレス) の集合です。MAC アドレスはレイヤ 2 環境では一意で、サーバの vNIC に割り当てることができます。サービス プロファイルで MAC プールを使用する場合は、サービス プロファイルに関連付けられたサーバで使用できるように MAC アドレスを手動で設定する必要はありません。

マルチテナント機能を実装しているシステムでは、組織階層を使用して、この MAC プールが特定のアプリケーションまたはビジネス サービスでのみ使用できるようにすることができます。Cisco UCS は名前解決ポリシーを使用してプールから MAC アドレスを割り当てます。

サーバに MAC アドレスを割り当てるには、vNIC ポリシーに MAC プールをインクルードする必要があります。vNIC ポリシーは、そのサーバに割り当てられたサービス プロファイル内に取り込まれます。

独自の MAC アドレスを指定することも、シスコにより提供された MAC アドレスのグループを使用することもできます。

MAC プールの作成

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# <code>scope org org-name</code>	指定した組織の組織モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、 <code>org-name</code> として / を入力します。

	Command or Action	Purpose
ステップ 2	UCS-A /org # create mac-pool <i>mac-プール名</i>	<p>指定された名前で MAC プールを作成し、組織 MAC プールモードを開始します。</p> <p>この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
ステップ 3	(Optional) UCS-A /org/mac-pool # set descr <i>説明</i>	<p>MAC プールの説明を記入します。</p> <p>Note 説明にスペース、特殊文字、または句読点が含まれている場合、説明を引用符で括る必要があります。引用符は、show コマンド出力の説明フィールドには表示されません。</p>
ステップ 4	UCS-A /org/mac-pool # set assignmentorder { default sequential }	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。 • sequential : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能な ID を選択します。
ステップ 5	UCS-A /org/mac-pool # create block <i>first-mac-addr</i> 最終- <i>MAC</i> アドレス	<p>MAC アドレスブロック (範囲) を作成し、組織 MAC プールブロックモードを開始します。アドレス範囲内の最初と最後の MAC アドレスを <i>nn:nn:nn:nn:nn:nn</i> 形式を使用して指定する必要があります。アドレス間はスペースで区切ります。</p>

	Command or Action	Purpose
		<p>Note MAC プールには、複数の MAC アドレス ブロックを含めることができます。複数の MAC アドレス ブロックを作成するには、組織 MAC プール モードから複数の create block コマンドを入力します。</p>
ステップ 6	UCS-A /org/mac-pool # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

Example

次の例では、pool37 という名前の MAC プールを作成し、プールに説明を加え、ブロックの最初および最後の MAC アドレスを指定して MAC アドレス ブロックを定義し、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # create mac-pool pool37
UCS-A /org/mac-pool* # set descr "This is my MAC pool"
UCS-A /org/mac-pool* # create block 00:A0:D7:42:00:01 00:A0:D7:42:01:00
UCS-A /org/mac-pool/block* # commit-buffer
UCS-A /org/mac-pool/block #
```

What to do next

MAC プールを vNIC テンプレートに含めます。

MAC プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Managerは、に割り当てられたアドレスを再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みアドレスは、次のいずれかが起きるまで、vNIC または vHBA に割り当てられた状態のままになります。

- 関連付けられたサービス プロファイルが削除される。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除される。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられる。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope org <i>org-name</i>	指定した組織の組織モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、 <i>org-name</i> として / を入力します。
ステップ 2	UCS-A /org # delete mac-pool <i>pool-name</i>	指定された MAC プールを削除します。
ステップ 3	UCS-A /org # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定に対して確定します。

例

次に、pool4 という名前の MAC プールを削除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # delete mac-pool pool4
UCS-A /org* # commit-buffer
UCS-A /org #
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。